

労働組合戦線の統一問題が、日本海員組合より提唱されて日本労働倶楽部が本年七月に成立された。我等は先きに全国労働組合同盟の如き指導精神の曖昧模糊たる團體と提携するも却て戦力を薄弱ならしめるものとして賛意を表し兼ねたのである。其後日本海員組合は嚴然として指導精神に反對する團體に對しては容赦なく之を抑制し指導する決意を表明したるが故に我等も亦思ふ所あつて賛を表したのである。果せるかな全國労働内部に於ては猛烈なる反對運動が起り、本月末來朝する國際運輸労働同盟の幹部エド、フイーメン氏に對して氏が第二インスターの系統であると言ふ見解に等しい理由を以つて上陸阻止の決議をして反對運動を猛烈に爲しつゝある。我等は斯の如き矛盾せる全國労働の態度に注視し其の結果に依つては日本労働俱樂部に對する我等の態度も亦變更しなければならぬ時のある事を覺悟するものである。右の如き情勢にあつて我が組合は一貫せる方針の下に確心に満ちて着々と歩武を進めつゝある事を愉快に感ずるものである。

最後に本組合が昭和三年度大會に決議し第六回關東同盟大會に提出して決定されたる日本労働會館建設運動が諸君の協力と努力とに依つて竣成し本年度大會を其會館に於て開催する事を得たるは近來の快事にして尊き紀念として共に喜びに堪へないものである。

全同志諸君よ！我等の爲すべき大事業はこれからである。希望に輝く腕と胸をシツカと組み理想に向つて勇往邁進せんことを望む

一九、三一、九

日本労働總同盟東京鐵工組合

組 合 長 内 田 藤 七

役員氏名

組 合 長	内 田 藤 七	幹 事 長	熊 本 虎 蔵
主 計 事	原 虎 一	政 治 部 長	田 中 芳 太 郎
執 行 委 員		青 年 部 長	佐 藤 信 之 助
組 織 宣 傳 部 長	井 堀 繁 雄	調 査 部 長	山 下 鶴 松
		教 育 出 版 部 長	齋 藤 猛
		共 濟 部 長	原 虎 一
			小 川 帝 三 郎

昭和五年度大會決議の執行

一、失業者非常救済に関する件

右は昨年總同盟全國大會の決議を経て社會民衆黨第五回大會に提出され、同大會に於て最重要議案として非常なる熱意を以つて可決されて政治闘争として努力を拂はれつゝある。一方執行委員原、井堀、熊本、田中、山下等は昨年九月十七日安達内務大臣を官邸に訪問した。不幸にして大臣不在の爲め野中秘書に會見し、決議文を提出して實行を要請したる處、野中秘書官も失業救済の緊急缺ぐべからざることを力説して居たのであるが其後一ヶ年経過したるも何等見るべきものないのは憤懣に堪へない處である。今後尙一層の努力と闘争を要することである。

二、カード式組合加入書採用の件

既にカードを印刷して之を使用し、尙組合員名簿備付けの爲め計畫を立て、着々進行しつゝある。

三、同一製品工場支部懇談會開催の件

昨年十一月二十九日日本部に於て第一回の會合を催した。出席したる支部十、人員二十一各工場の實狀を交換して相當有意義であつた。尙將來も繼續する事を望む。

四、相互共済組合設立促進に関する件

右は昨年九月十五日關東同盟會理事會に提出し其の促進を要求したる處、同盟會では規約立案中であつた。十月五日の同盟會大會には草案が完成されて大會報告に掲載され